



サステナビリティ基本計画
















KGI・KPI詳細

2022年3月

アルテリア・ネットワークス株式会社

マテリアリティ一覧

サステナビリティ基本計画で定めた6つのマテリアリティは、以下のとおりです。

	高品質な情報通信サービス	環境負荷の低減	社会課題の解決	ジェンダーを意識しない働き方	健康・柔軟な働き方	充実した学習環境
2030年の姿	<p>多様化するお客様のニーズや、市場トレンドを先取りしたサービスを企画・提供している。 高品質なブランドイメージが確立できている。</p>	<p>グループ全員が気候変動リスクを認識し、CO2削減のための施策を公私において自発的・積極的に実施している。</p>	<p>高品質な通信サービスの提供をはじめとする当社グループの様々な企業活動を通じて、社会が直面する課題の解消に意欲的・積極的に取り組んでいる。</p>	<p>グループ全員が多様性を受け入れ、ジェンダーを意識せずに働いている</p>	<p>社員が自身を取り巻く環境に応じ、場所や時間をより柔軟に選んで快適な環境で働いている。心身ともに健康に働いている。</p>	<p>人生100年時代の到来を見据え、社員一人一人が自身のライフビジョンをふまえ、リカレント・リスキングを通じて、やりがいを感じながら会社に社会に貢献できる人財としてあり続ける。</p>
KGI/KPI	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高品質なサービスの提供拡大 ▶ 新たな顧客需要に対する新サービスの開発 ▶ 回線サービスにおける高い可用性の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ISO14001認証取得・適用範囲拡大 ▶ 業務車両のEV/FCV化 ▶ 環境対応商品の調達割合増加 ▶ ボランティア活動推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育・医療・公共分野でのサービス拡大 ▶ インターンシップや寄付講座による情報通信教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 女性労働者の割合向上 ▶ 女性等役員の登用・管理職比率の向上 ▶ プラチナえるぼし認定取得を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ プラチナくるみん認定取得を目指す ▶ ハラスメントの撲滅 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リカレント・リスキング研修制度の導入・推進
SDGs17項目マッピング	  	  	  	 	  	 

マテリアリティ：高品質な情報通信サービス

➤ 2030年の姿

多様化するお客様のニーズや、市場トレンドを先取りしたサービスを企画・提供している。
高品質なブランドイメージが確立できている。

➤ KGI・KPI

項目	KGI・KPI
高品質なサービスの提供拡大	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 高品質なブランドイメージが確立できている。
新たな顧客需要に対する 新サービスの開発	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 多様化するお客様のニーズや、市場トレンドを先取りしたサービスを企画・提供している。
回線サービスにおける 高い可用性の維持	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 可用性99.999%の高品質なサービスを提供し続ける、信頼に足る企業。□ KPI（2021年度～2025年度） 専用線サービス・IP系サービスの可用性

マテリアリティ：環境負荷の低減

➤ 2030年の姿

グループ全員が気候変動リスクを認識し、CO2削減のための施策を公私において自発的・積極的に実施している。

➤ KGI・KPI

項目	KGI・KPI
ISO14001認証取得・適用範囲拡大	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 認証範囲を全グループに拡大・継続しており、環境負荷軽減の業務標準化に努めている。□ KPI（2021年度～2025年度）<ul style="list-style-type: none">・ 2022年度目標 特定組織で取得・ 2025年度目標 グループ全体で取得
業務車両のEV/FCV化（※1）	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度）： グループ全業務車両に関しEV化、もしくはFCV化を目指す。
社内利用の主要な用度品における環境対応商品の調達割合の増加（※2）	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 社内利用の用度品の内、日常的に利用している主要文具類に関し、環境対応商品の調達割合を金額及び品目数共に90%以上の維持を実現する。□ KPI（2021年度～2025年度） 年間調達金額・品目数における環境対応商品の割合
ボランティア活動推進	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 環境負荷の低減をはじめとする6つのマテリアリティのいずれかに資するボランティア休暇取得者数比率を10%（120人）にする。□ KPI（2021年度～2025年度） ボランティア休暇取得者数比率

※1：2021年2月現在の車両現在保有台数…グループ合計42台

※2：環境対応商品…グリーン購入法適合マーク商品、GNP掲載商品、メーカー各社がグリーン購入適合とうたっている商品

マテリアリティ：社会課題の解決

➤ 2030年の姿

高品質な通信サービスの提供をはじめとする当社グループの様々な企業活動を通じて、社会が直面する課題の解消に意欲的・積極的に取り組んでいる。

➤ KGI・KPI

項目	KGI・KPI
教育・医療・公共分野でのサービス拡大	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 教育・医療・公共分野への通信サービス提供機会を増やし、社会課題の解消に貢献する。
インターンシップや寄付講座による情報通信教育の推進	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） インターンシップや寄付講座による情報通信教育を推進している（参加人数100名）。□ KPI（2021年度～2025年度） インターンシップ参加人数

マテリアリティ：ジェンダーを意識しない働き方

➤ 2030年の姿

グループ全員が多様性を受け入れ、ジェンダーを意識せずに働いている。

➤ KGI・KPI

項目	KGI・KPI
女性労働者の割合向上	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 女性労働者比率 30.0%□ KPI（2021年度～2025年度） 女性労働者比率
女性等役員の登用・ 管理職比率向上	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 女性管理職比率 20.0%□ KPI（2021年度～2025年度） 女性管理職比率
プラチナえるぼし認定取得を 目指す（※）	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 2026年度にプラチナえるぼし認定取得を目指す。 （アルテリア・ネットワークス株式会社はえるぼし認定（三ツ星）を取得済）

※参考：プラチナえるぼし認定について（厚生労働省ホームページ）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>

マテリアリティ：健康・柔軟な働き方

➤ 2030年の姿

社員が自身を取り巻く環境に応じ、場所や時間をより柔軟に選んで快適な環境で働いている。
社員が心身ともに健康に働いている。

➤ KGI・KPI

項目	KGI・KPI
プラチナくるみん認定取得を目指す（※）	□ KGI（2030年度） 2025年度にプラチナくるみん認定取得を目指す。 （アルテリア・ネットワークス株式会社は、くるみん認定を取得済み）
ハラスメントの撲滅	□ KGI（2030年度） ハラスメントの撲滅を目指す。

※参考：プラチナえるぼし認定について（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/shokuba_kosodate/kurumin/index.html

マテリアリティ：充実した学習環境

➤ 2030年の姿

人生100年時代の到来を見据え、社員一人一人が自身のライフビジョンをふまえ、リカレント・リスキリングを通じて、やりがいを感じながら会社に社会に貢献できる人財としてあり続ける。

➤ KGI・KPI

項目	KGI・KPI
リカレント・リスキリング研修制度の導入・推進	<ul style="list-style-type: none">□ KGI（2030年度） 人生100年時代の到来を見据え、社員一人一人が自身のライフビジョンをふまえ、リカレント・リスキリングを通じて、やりがいを感じながら会社に社会に貢献できる人財としてあり続けられている。

つながる地球に、新しい鼓動を。

ARTERIA